

広島市植物公園 見どころ案内

ツバキ (ツバキ科)
ヤブツバキが咲き、品種「クリスマス・ビューティー」など赤や桃花の品種が咲き始めています。

ヤマコウバシ (クスノキ科)
落葉樹ですが、春先まで葉が枝に残るため、合格祈願「落ちない葉っぱ」として当園入口の売店で販売しています。

ソシンロウバイ (ロウバイ科)
中国原産。冬の寒い季節にいち早く、葉が出る前に黄色い花を咲かせています。ロウバイの変種で香りが強く、花が大きい。

シナマンサク (マンサク科)
中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花弁を日本のマンサクより早く、咲き始めました。

クリスマスローズ (キンポウゲ科)
ベゴニア温室南側で白、紅、緑などに色づいています。これから少しずつ彩られていきます。

ウメ (バラ科)
ウメ園で品種「紅冬至」「夏花」などの桃花や白花が咲き始めています。

植物日本画展
～2月25日(木)
四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示しています。
[展示資料館1階展示室にて]

ウメ (バラ科)
冬至(とうじ)は、中国原産の早咲き品種。冬至のころから、白い一重の花を咲かせるためこの名がつけました。今は八分咲きです。

対面にあるのは、早咲き紅梅品種「八重寒紅(やえかんこう)」も開花中で六分咲きです。

さらに奥にあるシダレ梅の品種「藤牡丹枝垂れ」は20輪ほどが咲いています。
[日本庭園]

ポルトギース
ヒース (ツツジ科)

ヨーロッパ南西部原産。つり鐘状の小さい白花をいっぱいに咲かせています。

ハンギング
バスケット
カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。今回はパンジー、ツタ、シロタエギクなどを使って冬バージョンに仕上げました。
[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

